

# 東芝インフラシステムズ株式会社

回転繊維体を用いたOD法向け前処理装置

## Habuki™

このようなお悩み解決します！

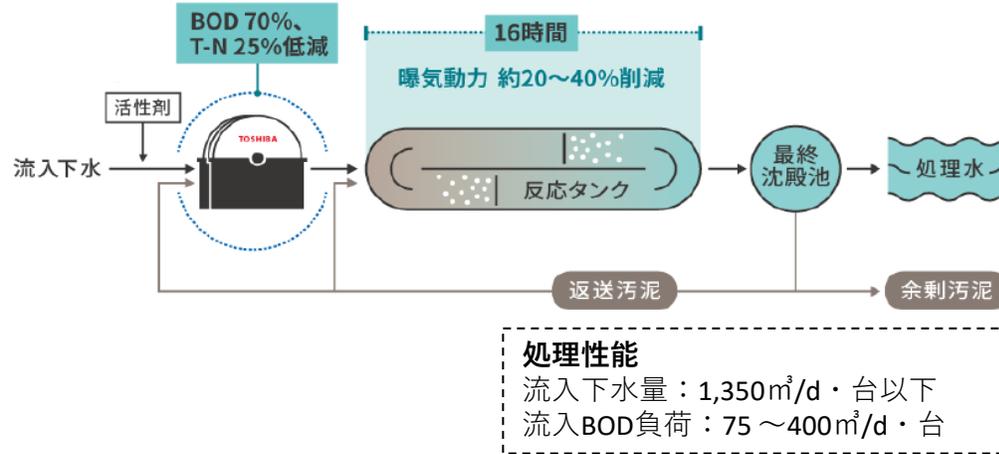
- ✓ 経年劣化しているOD水槽の改築工事や曝気装置のOHを実施したい
- ✓ 施設の統合計画があるが、施設規模を変更（増設）せずに、処理水量を増加させたい
- ✓ 1系列しかないOD水槽を改修工事したいが、下水処理を止められない
- ✓ 系列を集約・停止させて動力費を抑えたい

連絡先

東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部  
インフラサービス創造部

板垣大地 daichi1.itagaki@toshiba.co.jp

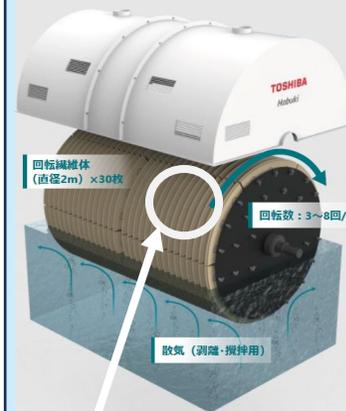
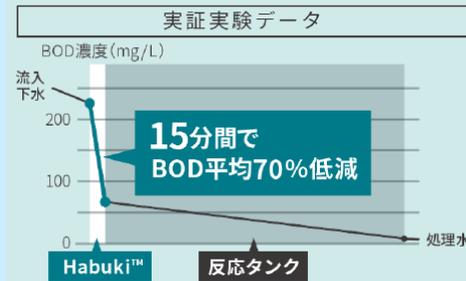
### Habuki™ 導入例



### Habuki™の特長 3つの“省く”

#### 01:コスト

1分間に回転繊維体が3～8回転し、下水中のBODを70%、T-Nを25%低減することが可能。後段の反応タンク負荷を低減させ、曝気動力費30%/年を削減。汚泥滞留時間が長いこと余剰汚泥発生量も20%/年削減。



#### 02:スペース

大量の微生物保有により高負荷運転を実現し、従来OD法の約2倍の流入下水量の処理が可能。後段の反応タンクの系列・スペースを削減。(反応タンクが小さくできる)

#### 立体網目構造



微生物の保有量

通常のOD法	3,000～ 4,000 mg/L
<b>Habuki™</b>	<b>20,000～30,000mg/L</b>
<b>10倍以上の保有量</b>	

#### 03:手間

シンプルな構造のため、維持管理にかかる手間がほぼ無く、軸受け部のグリスアップを1回/月で行うのみ。繊維体の交換は10年に1度を推奨しており、6分の1ごとの交換が可能。



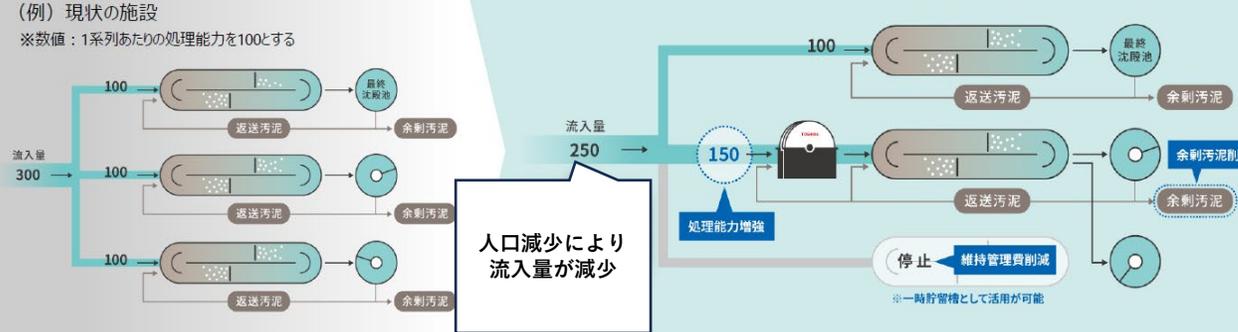
機能を維持して量を削減する



### 特徴

処理水量の変動に柔軟に対応可能。不要系列を停止させることで、発生費用を抑制します。

### 導入用途：ダウンサイジング



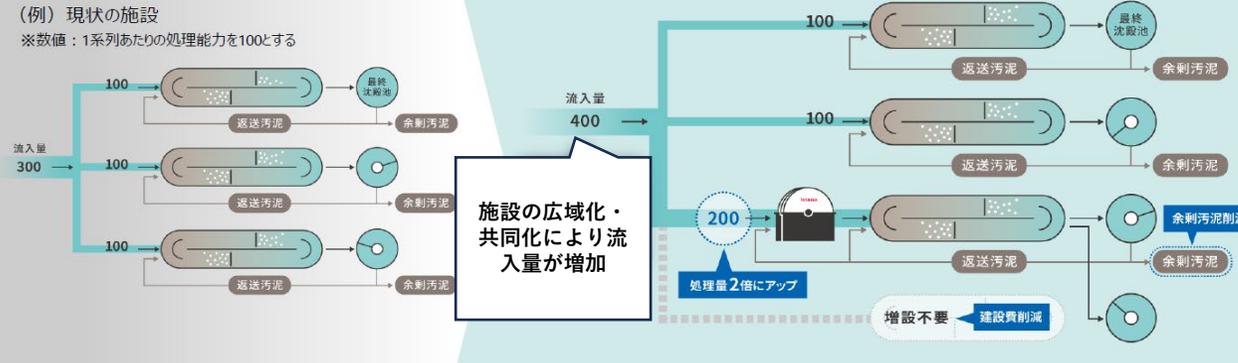
量を維持して費用を削減する



### 特徴

施設の広域化・共同化による流水量の増加に対し、施設規模の最適化を手助けします。反応タンクの増設を不要にし、増設コストを削減できます。

### 導入用途：施設の増設不要



量を維持して費用を削減する



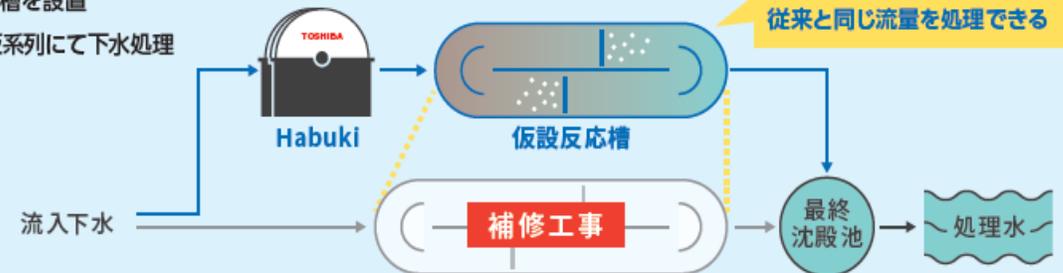
### 特徴

耐震補強や更新工事が必要な1系列のみのOD処理場に対応。仮設Habuki™の設置により、後段の仮設反応槽の規模を最小に抑えることができ、対策工事にかかる仮設コストを抑えることができる。

### 一列のみで運転している場合の改修工事

Habuki+仮設反応槽を設置

補修期間中はこの仮系列にて下水処理



※詳しい製品仕様は「東芝 Habuki」と検索いただければご覧いただけます。